

平成二十五年
いのち

生命の言葉

十月

神風や朝日の宮の宮遷り

かげのどかなる世にこそ有りけれ

源 実朝

裏面もご覧ください。

十月
生命の言葉

伊勢神宮のご遷宮があり、太陽の光が
のどかにさす世であることだ。

出典『金槐和歌集』

源 実朝 (みなもととさねとも)

二九二〜二二一九年。鎌倉幕府を開いた頼朝の次男。兄・頼家が追放され三代将軍となる。詠歌に優れ、『金槐和歌集』を編纂した。平成二十五年十月、式年遷宮の祭儀の中で最も重要な儀式である遷御の儀が執り行われる。これは大御神様のご神体を本殿から新殿にお遷しするためのもので、千三百年間ほとんど変わらない儀式で斎行される。

寒露の候ご参拝の皆さまの願い事はきつと神さまに届きます

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



遷宮で結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮